

### 特集

### 医療介護福祉学科 3年制完成年度を迎えて

- 巻頭言「創立50周年記念式典を終えて」
- 担任から卒業生へ／栄えある受賞者
- 看護学科 継灯式／  
医療介護福祉学科 介護実習事例報告会・川柳受賞報告
- 学友会活動
- インフォメーション

# おめでとう



継灯式の後で（看護学科2年生）



こもれびの校庭にて（医療介護福祉学科3年生）



学園祭仮装パフォーマンス（医療介護福祉学科1年生）  
（撮影 看護学科 熊野 一郎）

## 副学長巻頭言

# 創立50周年記念式典を終えて —新たな旅立ち—



副学長 新見 明子

本学は1973年にチーム医療に不可欠な優れた専門的医療技術者の養成を目指して、川崎学園の3番目の施設として倉敷市松島に開設され、2023年に創立50周年を迎えました。この度、2024年2月24日に創立50周年記念式典を開催し多くの皆さまにご出席いただき無事に終えることができました。これもひとえに、本学の誕生からこれまでに伝統を築き上げてきた卒業生や在校生、ご指導やご支援をいただきました教職員並びに関係者の皆さまのご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

開学当初は3学科でしたが、医療の高度化とともに、それを支える医療福祉機関で働くスタッフにも医療を深く理解した専門家としての高度な能力が必須であることから、2005年までに開設された7学科全ての学科で体系的に医療を学ぶ課程が設けられ、医療福祉分野における時代の先端を行く短期大学となりました。この間、1991年に開学した川崎医療福祉大学に、さらなる高度な専門職養成への期待から7学科が順次発展的改組移行し、現在では、看護学科、医療介護福祉学科の2学科が良き伝統を引き継いでいます。卒業生は16,241人となり、全国各地の医療・福祉などの現場の第一線で活躍してくれています。

記念式典では、秋山 祐治学長による本学の発展に寄与していただいた方々への感謝の挨拶から始まり、来賓の方々を代表して元学長（現川崎医療福祉大学学長）椿原 彰夫様より本学のあゆみの回想と将来を期待するご祝辞をいただきました。その後、川崎医療短期大学同窓会「松丘会」からの記念品の贈呈と、医療短期大学と川崎医科大学高齢者医療センターの間に造園された中山下のオアシスともいべき庭園「こもれびの校庭」の命名における優秀作品賞受賞者の紹介がありました。開学から岡山キャンパス移転後の現在まで各学科の変遷を提示したスライドショーでは、桜舞う旧校舎や実習風景など懐かしい写真が沢山紹介され卒業生や退職された教職員の方々には感慨深いものとなりました。

卒業生による記念シンポジウムでは「地域を支える医療福祉」と題して、栄養科卒業生の森光 大さんによる「多職種で地域を

支えるために」、医療保育科卒業生の久保田 奈穂美さんによる「保育士としてできること」、医療介護福祉科卒業生の辻内 綾香さんによる「介護の専門職として住み慣れた地域で幸せな時間を」、第一看護科卒業生の濱本 千春さんによる「看護の視点から考える」の4題が発表されました。発表は、それぞれの専門職として「かかわる人々に最大限に幸せになってほしい」という熱意あふれるもので、参加していただいた皆さまの心に温かい感情を沸き起こすものでした。また、在学生からの質問に対しては将来へ向けてのアドバイスをいただき、有意義なシンポジウムとなりました。

記念式典には、元教職員や卒業生代表の方々、在学生有志及び協会役員の方々が参列くださり、盛会のうちに幕を閉じることができましたこと、ご出席いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本学は、これからも伝統を引き継ぎ、新たな時代を担う医療福祉職の育成に向けて、さらに一步を踏み出します。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、記念式典の様子や創立50周年記念誌は大学HPで公開しますのでぜひご覧いただけると幸いです。



学長式辞



同窓会より記念品目録贈呈



卒業生による記念シンポジウム



「こもれびの校庭」名称看板  
同窓会（松丘会）から寄贈されました。



本学創立50周年記念  
サイトを準備中  
近日公開予定です。



本学創立50周年記念誌を  
刊行しました。

30周年記念誌以降の20年間を中心に編集し、松島の地から岡山キャンパスへつながる歴史をまとめました。電子ブックを公開していますのでご覧ください。



# 担任から卒業生へ



看護学科 3年担任  
掛屋 純子

ご卒業おめでとうございます。看護師を目指して本学に入学した皆さんのこの3年間は、振り返ればあっという間のことだったのではないのでしょうか。学年が進むにつれて、自分の成長を実感したことも数多くあったものと思います。臨地実習のまともでは、皆さんが看護師に必要な力をつけてきた様子を間近に知ることができ、とてもうれしく頼もしい気持ちになりました。

これまで皆さんは、学生として教員からの評価を受ける立場でした。しかし、これからは看護師のライセンスを持って、「患者さんからの評価をいただく」立場になります。看護師ライセンスには、患者さんに対する責任が伴うことを忘れないでください。

パナソニック創業者の松下幸之助さんは、「些細なことをおろそかにしない心がけが人生を大きな成功へ導く」と言われました。この言葉を皆さんへのメッセージとして贈りたいと思います。どのような仕事でも丁寧に行うことを心がけて、患者さんからの信頼を得られるようにしてください。そうすることが、皆さんの看護師としての成長につながるはずです。様々な場所で自分らしく活躍してください。そしていつでも母校に足を運んで成長した姿を見せにきてください。これからの活躍とご発展をお祈りしています。



看護学科 3年担任  
小淵 京子

ご卒業おめでとうございます。皆さんの大学生活は、新型コロナウイルス感染症によって多くの制限を強いられる中で始まったものと思います。最初は思い描いていたような大学生活ができなかったかもしれません。そのような中でも、仲間と助け合いながら学修や学生生活を続け、半年間の臨地実習を通じてたくましく成長していく皆さんを見て、とてもうれしく感じました。世代を超えて多くの人々と関わり、多くの経験をしたことで、大きく成長できたものと思います。これらの経験は、皆さんのこれからの人生の中で必ず役に立つことでしょう。自信を持って進んでいってください。

4月からは夢や希望を持ってそれぞれの新しい道を歩んで行くことになります。これからも常に学ぶ姿勢を持ち、相手の立場になって考えること、自分を大切にすることを忘れることなく、川崎医療短期大学で身につけた知識や技術、人間性を生かして頑張ってください。ご活躍を応援しています。



医療介護福祉学科 3年担任  
岸本 英里

ご卒業おめでとうございます。卒業は一人の力だけでできたものではありません。仲間や家族、環境など、さまざまなものに支えられながらこの日を迎えられたことを忘れないでほしいと思います。医療介護福祉学科が3年制になって最初の学生の皆さんは、新しいことへの挑戦も多かったことでしょう。試行錯誤しながらもクラスが一丸となって努力する姿はとてもうれしく、誇りに思えるものでした。

4月からはそれぞれの場で介護福祉士として新たな一歩を踏み出します。壁にぶつかることも、悩んだり逃げ出したいと感じることもあると思いますが、そのような時こそ、対象者の想いに寄り添い、自分には何ができるのかを考え、3年間の学びや初心を思い出してください。きっと、進むべき方向性が見つかることと思います。活躍する場は違って、同じように悩み、前に進む仲間がいることや帰ることができる場所があることを忘れないでください。夢へと羽ばたき、介護福祉士として活躍する皆さんを応援しています。

## 栄えある 受賞者

令和5年度卒業証書・学位記授与式は3月16日に挙行政され、「学業成績及び品行等が優秀で、他の学生の模範とするに足る者」と認められた学生に『学長賞』と『学科長』が贈られます。

### 学長賞



看護学科  
武内 真衣子



医療介護福祉学科  
丹嶋 柚乃

### 学科長賞



看護学科  
門脇 美奈



医療介護福祉学科  
大石 早紀

## 年間キラリ賞表彰

年間キラリ賞は、大学生活のこの一年、医療福祉人として勉学にも社会活動にもキラリと頑張りを見せた学生に贈られます。



看護学科  
山本 愛理



看護学科  
佐上 加奈



看護学科  
浦林 ゆい



医療介護福祉学科  
藤原 幹太

## 学生表彰

日本私立  
看護系大学協会  
会長表彰



看護学科  
藤田 愛弓

日本介護福祉士  
養成施設協会  
会長表彰



医療介護福祉学科  
内田 優里



## 医療介護福祉学科

# 3年制完成年度を迎えて



医療介護福祉学科  
学科長 山田 順子

2021年4月に3年制に移行した医療介護福祉学科は、完成年度を迎えた今年度、3学年の学生が揃って学びを深めています。3年制教育の特徴は、介護福祉士教育では初めてとなる病院実習を導入したことで、チーム医療の一員としての介護福祉士の役割に関する指導を行っています。合わせて、医療、リハビリテーション、認知症に関する知識や技術を習得でき、実践力を備えた「医療に強い」介護福祉士を育成するようにしています。

この春に巣立つ学生たちの活躍に期待し、3年次生を中心にこれまでの学びと活動を振り返ってもらいました。

### 実習 喀痰吸引等実地研修

3年 高橋 美宇



1,2年次の「医療的ケア」の授業では、喀痰吸引や経管栄養、急変時の対応について、根拠となる知識を学びました。喀痰吸引等実地研修の前には患者体験を行い、ベッドで寝た状態で喀痰吸引や経管栄養を実施する際に、声をかけられる患者さんの気持ちを知ることができました。3年次の病院実習における喀痰吸引等実地研修では、指導看護師のもと、患者さんを対象に、清潔操作をおこない、安全かつ負担をかけないような手技・手順で研修を実施させていただきました。患者さんの生活を支える介護福祉士として、楽に呼吸をすること、食事を摂ることの意味を理解し、技術を習得するよう努めました。これらの経験を通じて、患者さんへの声かけや対応について考えることができました。

### 授業 生活支援のための運動学・リハビリテーションの知識

3年 片山 晟也

3年次の「生活支援のための運動学・リハビリテーションの知識」の授業では、川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科の先生に指導を受けました。それぞれの専門職種の見地を知り、利用者さんのどのようなところを観察して支援しているのかが理解できました。日常生活を継続するうえで介護福祉士として知っておくべき車いすや福祉用具の点検方法についても学びました。また、身体の動きや使い方を理解することで利用者として介護者双方にとって負担の少ない介助をすることを学び、自立支援を意識した介護を考えることができました。3年次には、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟での実習もあったため、これまで以上にリハビリテーション専門職との連携の必要性を感じました。



### 活動 『ハピネスリボン同好会』（認知症の高齢者を支えるボランティア同好会）

3年 大石 早紀



岡山キャンパスが位置する内山下・深砥地区は、認知症の方を地域で支える岡山市の認知症サポーター活動促進事業「チームオレンジ」のモデル地区になりました。本学と高齢者医療センターは、地域包括支援センターや地域住民の方々と協働し、この地区のチーム名を「チームこもれび」と命名し、活動を開始しました。なかでも医療介護福祉学科の学生を中心とする「ハピネスリボン同好会」は、「チームこもれび」の活動の軸を担っています。11月には、元高校教諭の方の「昔のように自分の知識を若い人に伝えたい」という想いを叶えるべく、ハピネスリボン同好会の学生が企画・運営する交流会を本学で開催しました。当日は、ご本人、ご家族、地域の方々と、故郷の歴史や海外旅行のお話、お気に入りの歌を歌うなどして楽しい時間を過ごしました。この活動を通して、認知症によって諦めていたことや難しいと思われていたことでも、活躍の場を作ることで実現が可能になることを学びました。今後も認知症の方たちにとって居心地が良く、家族支援にもつなげることができるような活動を続けていきたいと思えます。

### 実習外の活動



交流会（企画：ハピネスリボン同好会）



川崎学園祭 衣装パフォーマンス

実習風景



実習 病院実習

3年 藤原 真織



回復期リハビリテーション病棟などで5週間実習しました。病院実習では、特に患者さんの自立を支援するということに学びがありました。受け持たせていただいた患者さんのなかに、脳梗塞を発症して急性期の治療を終え、専門的なりハビリテーションに取り組みながら在宅復帰を目指している方がおられました。退院はできても、病気の後遺症により生活に支障が出る行為(排せつ動作や食事動作など)があるため、自宅へ戻られたときに困ることがないよう、患者さんの残存機能を生かしながら支援していく関わりが必要になります。介護福祉士は、普段から患者さんの近くにいるからこそ、患者さんの想いに寄り添いながら支援をしていくことができる職種であるということを実感しました。

実習 地域介護実践実習

3年 丹嶋 柚乃

地域介護実践実習では、地域の包括的な支援や様々なサービスを活用することで、利用者さんが住み慣れた地域や家で自分らしい生活を実現できることを学びました。私は、今回デイサービスを実習先を選びました。そこでは、個々の利用者さんの希望を叶えられるように様々な活動プログラムがあり、それらを通して日々の生活が彩られていくことを利用者さんの多くの笑顔から実感することができました。年を重ね、できないことが増えていく中、関わりを通してできることを見つけていき、「できない」ではなく「できる」が増え、「その人らしい生活を送ること」につなげていくことが、利用者さんの想いに寄り添い、支えることのできる介護福祉士としての役割であると感じました。



活動 おかやま介護グランプリ

3年 窪 菜摘



2023年11月10日(金)に、きらめきプラザにおいて「おかやま介護グランプリ」(主催:一般社団法人岡山県介護福祉士会)が開催されました。現場での介護技術を広く公開し、介護の仕事への理解を促進することを目的に、1チームにつき2名で出場し介護技術の腕を競います。私たち医療介護福祉学科3年次生は、本選に出場することができる学生部門5チームを独占しました。本選の課題は、対象の利用者さんにふさわしい介護を実践するというもので、「この利用者さんは何を望んでいるのか」「この利用者さんが自分でできることは何か」を意識しながら内容を組み立て、実技を披露しました。初めての挑戦で緊張しましたが、ベストを尽くすことができ、入賞することができました。

活動 川崎学園祭 仮装パフォーマンス

1年 宇野 愛梨

私たち1年次生は、川崎学園祭の仮装パフォーマンスにおいて、『トイストーリー』の物語の世界をイメージしたミッキーダンスとアラジンの創作ダンスを披露しました。1からダンスの内容を考えたため覚えるのが大変でしたが、アクロバティックな技を取り入れて、見ている人が楽しめるように工夫をしました。当日は、みんなが「やりきった」と思えるパフォーマンスをすることができ、クラスの仲が一層深まりました。難易度の高い技を成功できたこともあり、学園3位に入賞することができました。



# 看護学科トピックス

## 継灯式

10月28日(土)に、看護学科2年次生109名の継灯式が厳粛な雰囲気の中挙行されました。継灯式は看護学科開設以来続いている伝統行事であり、今年度で50回目を迎えました。今回は岡山キャンパスに移転後2度目の開催となり、前年度に続き感染予防対策に配慮しつつ102名の保護者をお招きして行いました。

式典では、学生を代表して芦田 愛瑠さんと白瀧 真利花さんがナイチンゲール像から看護の灯火を受け継ぎました。その灯火を学生同士でつないでいき、学生たちは灯りのともったキャンドルを手にナイチンゲール誓詞を唱和しました。儀式後の祝辞では、新見 明子副学長からは「勇気を持つこと、謙虚に学ぶこと、相手を尊重する誠実さを忘れずに実習すること」とのお言葉をいただきました。岡田 みどり学科長からは「実習を通して看護実践に必要な患者・看護師関係を築く能力や専門職としての責任感を身につけてほしい」との言葉が贈られました。本学卒業生で川崎医科大学総合医療センター勤務の脇 真奈未さんは「看護師として成長する機会となった患者様との出会い」について語



られ、学生たちを激励してくださいました。最後に、学生代表の井上 琴心さんが「愛と思いやりを持ち、患者様の環境を整えながら心強い存在となれるよう日々精進します」と決意を述べました。

11月末から始まる基礎看護学実習Ⅱを前に、看護に携わる者としての責任を自覚し、決意を新たにす式典となりました。(看護学科 日下 知子)

# 医療介護福祉学科トピックス

## 2年次生 介護実習事例報告会

令和5年度介護実習事例報告会を、介護実習施設の指導者の方や保護者の方々をお招きして、1月13日(土)に開催しました。この報告会は、医療介護福祉学科の2年次生が5週間の学外実習で受け持った利用者さんの介護過程をまとめ、その学びを報告するものです。

学生たちは、利用者さんと日々関わる中で、実習指導者からの助言も得ながら、利用者さんの真の想いや望む生活に近づくために必要なことを考え、利用者さんに真剣に寄り添い向き合ったことを発表しました。写真やイラストの入った資料なども用いて、聞き手に伝わりやすくなるように工夫を凝らしていました。

学生にとっては2年間の学びのまとめとして、これまで培ってきた介護観を深める事ができました。そして、次の段階である3年次の病院実習や地域介護実践実習に向けて、決意を新たにす貴重な機会になったと思います。

(医療介護福祉学科 時弘 里紗)



## 川柳受賞報告

医療介護福祉学科の学生が介護に対する想いを川柳に託し、「第4回11月11日介護の日岡山 川柳募集」(岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会主催)に応募しました。応募総数1822句のなかから、1年次生の山下 優衣さんが専門学校・短大・大学生の部門で「優秀賞」、3年次生の藤原 真織さんが特別団体賞として「日本介護福祉士養成施設会会員賞」を受賞しました。

山下 優衣さんの作品

「よー来たな」 実習行くと アイドルだ

藤原 真織さんの作品

思い合い 大事にするとこ 笑顔あり

## 学友会活動

学友会では  
大学行事の企画運営や  
地域ボランティア活動などを  
行っています。



### 【後期 主な活動】

9月17日(日)、11月19日(日)、2月18日(日)	ピカピカボランティア(天満屋主催 近隣清掃活動)
10月20日(金)～10月22日(日)	川崎学園祭
12月1日(金)	岡山県警察 歳末特別警戒出発式
12月2日(土)～2月18日(日)	イルミネーション
12月16日(土)	クリスマス会
2月27日(火)	岡山県警察 学生防犯ボランティア連絡会総会・フォーラム

### ピカピカボランティア

天満屋主催の近隣清掃活動に参加しました。

9月17日(日)、11月19日(日)、2月18日(日)



### 川崎学園祭運営

医科大学、医療福祉大学、リハビリテーション学院と協力して学園祭を企画・運営しました。

10月20日(金)～10月22日(日)(前夜祭を含む)



### クリスマス会運営

学友会で企画・運営してクイズやゲームを実施しました。新たな友達作りができるように工夫しました。

12月16日(土)



### イルミネーション設置

こもればの校庭や校舎棟周囲にイルミネーションライトを設置しました。ラウンジの窓辺もライトで飾り、高齢者医療センターの患者さんからよく見えるようにしました。呼びかけで集まった学生も設置に協力してくれました。

12月2日(土)～2月18日(日)



### 岡山県警察 歳末特別警戒出発式参加・啓発チラシ配布

防犯啓発活動に協力し、イオンモール岡山、さんすて岡山周辺で活動しました。

12月1日(金)



### 岡山県警察 学生防犯ボランティア連絡会総会・フォーラム出席

防犯ボランティア連絡会に登録している他大学と共に防犯活動に関する報告会や講演会等に参加しました。

2月27日(火)

### 新委員長挨拶

皆さん、こんにちは。学友会委員長を務めることになりました花井 美紀です。昨年5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、学友会も様々な行事を開催することができました。今年度も皆さんが楽しめるような行事を企画・運営していきたいと考えています。至らない点多々あると思いますが1年間精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

(2024年度学友会委員長 看護学科1年 花井 美紀)



▲学友会新委員長 花井 美紀さん



▲学友会新役員

### 防災訓練

9月19日(火)に、地震後に火災が発生した状況を想定した防災訓練を実施しました。地震発生時には頭を低くして身を守り、その後深祇ガーデンまで避難しましたが、学生・教職員とも落ち着いて行動し、避難場所での点呼の実施もスムーズに行えました。また、岡山市消防局の協力のもと、1年生はVRで火災現場を体感し、火災の恐さと初期消火の重要性を学びました。教職員は消火器の操作訓練を行いました。さらに、全員が安否確認の入力を体験しました。この体験は1月1日の能登半島地震の際に生かされ、学生・教職員の安否を速やかに確認することができました。改めて、日頃の訓練の大切さを実感しました。(学生生活支援委員会 黒田 裕子)



## 2024年度 公開講座

中高生の参加もお待ちしております！

### 第1回【医療介護福祉学科】

講座名：「あらためて知りたい！認知症の方との関わり方～地域での暮らしを支えるために、今あなたができること～」

講師：和田 健二（川崎医科大学 認知症学 教授）  
居村 貴子（医療介護福祉学科 講師）

日時：7月6日（土）11:00～12:30  
会場：本学 1階大講義室

### 第2回【看護学科】

講座名：「運動の秋！生活習慣病の予防（改善）に運動を上手に取り入れよう～脂肪燃焼の秘訣～」

講師：掛屋 純子（看護学科 准教授）  
日時：10月20日（日）10:00～11:30  
会場：本学 1階大講義室

申込方法等は本学ホームページでお知らせします。

## 岡山キャンパス「七夕健康祭」

医療福祉の仕事を知って、健康や将来の職業について考えてみませんか？

日時：7月6日（土）11時～16時30分（予定）  
場所：川崎学園岡山キャンパス（岡山市北区中山下）

- 講演会・病院の仕事紹介・病院探検ツアー・体験授業・フレイル予防体操・健康相談・おもちゃづくり・キッチンカーなど、大人から小中高生まで楽しめる盛りだくさんの企画を検討中！
- 詳細は、近日ホームページで公開予定！



## 主要行事（4月～8月）

4月	1日	新入生オリエンテーション（～6日）
	3日	入学式
	8日	授業開始／看護学科3年臨地実習開始（～9/20）
	13日	川崎学園入学時合同研修
	20日	看護学科 学外研修
	27日	医療介護福祉学科実習指導者連絡会

5月	7日	医療介護福祉学科3年 病院実習（～6/7）
	11日	オープンキャンパス
	18日	スポーツ大会
	22日	医療介護福祉学科1年介護実習 I-1開始（毎週水・木曜）（～6/27）

6月	1日	学園創立記念日
	15日	医療介護福祉学科実習開始式
	7日	3校合同入試説明会
	16日	3校合同オープンキャンパス
	17日	医療介護福祉学科2年介護実習 I-3開始（～7/5）

7月	6日	第1回公開講座／岡山キャンパス「七夕健康祭」
	21日	3校合同オープンキャンパス
	31日	前期定期試験（～8/10）

8月	11日	夏期休業（～9/23）
	17日	オープンキャンパス

## 川崎医療短期大学学報

### 「若きいのち」（114号）

2024年3月発行

編集発行：広報誌等作成ワーキンググループ

熊野 一郎（看護学科・責任者）  
見尾 久美恵（看護学科）  
時弘 里紗（医療介護福祉学科）  
小池 香里（事務室・書記）

写真協力：二葉写真館

編集：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番70号

TEL 086-201-5333（代表）

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <https://j.kawasaki-m.ac.jp>

## 2023/11/11 公開講座について

11月11日（土）に、大講義室で第2回公開講座「冬の大会!!「ヒートショック」から身を守るためにできること-安全な入浴方法とは-」を開催しました。看護学科の榎本 朋子教授と熊野 一郎准教授が講師をつとめ、104名の方にご参加いただきました。講座は2部構成で、前半はヒートショックのメカニズムについて、血管や心臓のしくみ、気温の変化と体の反応に関する講義が行われました。後半はヒートショック発生の要因や、発生を予防するための安全な入浴方法について具体的な説明がありました。また、座ったまま行える予防体操を、音楽に合わせて参加者全員に体験していただきました。冬本番となる時期にヒートショックについて正しく学んでいただく機会となり、ご本人やご家族の安全を守ることにつながる知識を身につけていただけたものと思います。



（看護学科 阿部 裕美）

地球温暖化対策ワーキンググループだより

No. 48

## 川崎エコアクション

家庭でできる省エネ



今年の夏、私は省エネライフを始めました。きっかけは、電化製品の消費電力を調べていた際に見つけた資源エネルギー庁ホームページの「家庭でできる省エネ」の記事です。そこに「効率よく消費エネルギーを抑えることで、お財布と地球環境にやさしい省エネライフをスタート」とあり、具体的な省エネ行動とその効果が紹介されていました。その中から、自分にもできることとして、冷房28℃・暖房20℃、使用していない所の照明は消灯する、テレビを見ない時は主電源を切るなどに取り組みました。初めは私一人で行っていましたが、今では子どもも「電気消さないのもったいないよ」と家族みんなが自然と省エネ意識を持つようになりました。これからは家族ぐるみで省エネライフを続けていきたいと思っています。

（看護学科 糸島 弘和）

## OPEN CAMPUS 2024

2024年オープンキャンパス／放課後キャンパスツアー 開催スケジュール

### オープンキャンパス

#### ●川崎医療短期大学オープンキャンパス

（受付：本学（岡山市）にて）

開催日時	
5月11日	13:00～16:00
8月17日	13:00～16:00

#### ●合同オープンキャンパス

（受付：川崎医療福祉大学（倉敷市）にて）

川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院の **3校合同開催**

開催日時	
3月24日	10:00～15:00
6月16日	10:00～15:00
7月21日	10:00～15:00
10月19日・20日	10:00～15:00 <small>半日単位開催 キャンパスショーケース</small>

◆体験・模擬講義、入試概要説明、入試相談など、豊富なコンテンツ！

◆参加された方に記念グッズなどプレゼント！

合同オープンキャンパスは・・・

◆当日JR中庄駅から往復無料バス運行

◆駐車場あり

オープンキャンパスが事前申込制になる場合がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。

### いってみよ！放課後キャンパスツアー

お一人でも、友達と一緒にでも！気軽に放課後にちょっと寄り道してみませんか。スタッフが校内をご案内します。

開催日	4/17	4/19	4/24	4/26	5/ 1
	5/20	5/24	5/29	5/31	6/ 5
	6/ 7	6/10	6/28	7/10	7/17
	8/21	8/28	9/11	9/25	10/ 9
	10/30	11/13	11/20		

◆開催時間は16:00～17:00、17:00～18:00。各回3組ずつ。

◆ご希望の開催日3日前までに本学ホームページからご予約ください。

## 編集後記

先日、医療介護福祉学科卒業生3名を講師としてお招きした「就職支援講座」に出席し、卒業生が生き生きとご自身の仕事を紹介しておられる様子を拝見しました。皆さんとても自信に満ちて輝いておられました。この方々や創立50周年記念式典のシンポジストをはじめ、多くの卒業生が医療福祉の様々な分野で活躍していることを、本当に頼もしく思います。その尊敬すべき先輩方に続く卒業生127名が、まもなく学び舎を巣立っていきます。本学での学びを忘れることなく邁進し、苦しいことがあればいつでも振り返ってほしいという気持ちを含めて、「いってらっしゃい」と送り出したいと思います。最後になりましたが、ご寄稿くださった皆様方に厚く御礼申し上げます。（事務室 小池 香里）